２００４年１１月２４日

狭山平和委員会御中

11・26「つどい」への日高市平和委員会のメッセージ

私達は日高市平和委員会に結集し平和のことについて活動している団体です。

前回の「つどい」の以降、次のような活動をおこなってきました。まず機関紙「ひだか平和新聞」を毎月発行してきました。２００４年２月には「ＳＴＯＰ！自衛隊のイラク派兵ピースアクション於稲荷山公園」に参加しました。3・20 国際行動デーピースアクションイン所沢（所沢航空公園野外ステージ）に参加しました。メーデー前夜祭（学習会）参加に参加しました。５月１日には第７５回飯能日高地域メーデー参加（於飯能八幡神社）し、その後、近くの川原で行われた交流会に参加しました。５月４日には東大和市の史跡・戦災建造物見学ツアーを実施しました。５月１５日には埼玉県平和委員会２００４年度定例総会（於埼玉教育会館）に事務局長が参加しました。６月 5～６日には日本平和委員会第５４回定期大会（於筑波山）に事務局長が参加しました。７月１１日には国民平和大行進が日高に入りましたが、日高・まるひろ前で集会後生涯学習センターまで核兵器廃絶を訴え行進しました。８月４日～6 日の原水爆禁止２００４年世界大会・広島には事務局長が参加し、他に埼玉土建飯能日高支部から２名が参加しました。８月７日には授産施設「かわせみ祭り」に参加、原爆写真展と「いまこそ核兵器廃絶を」国際署名に取り組みました。９月には「すいとんを食べながら戦争体験を語る会」を日高市総合福祉施設センター高麗の郷で開きました。同じ会場で１１月には「憲法学習会」として弁護士の大久保賢一先生の講演会を開きました。「日高九条の会」の準備会も立ち上げ、会結成に向けた準備をしています。同時に日本平和大会 in 佐世保に参加する青年０君の激励会を行いました。

このように地域の会員相互の交流を大切にし、共に学び行動することを通じて平和のことを考えてきました。基地の問題については直接行動をすることはありませんでしたが、お隣の狭山の運動については常に注意を払い、共に闘う姿勢を維持してきました。今回の「つどい」において、参加されたみなさんと共に平和の活動を共有し、核も基地も無い平和な日本を実現するためにがんばっていきたいと考えております。

日本平和委員会第５４回定期全国大会で決定された「憲法を力に国民的な運動を」というスローガンのとおり、世界から孤立するアメリカの戦略に対決し、反戦・平和の世論の新たな発展のために努力していきたいと考えております。また、アメリカの戦争に参加する国づくりめざす小泉政権と対決し国民の平和への願いを大いに結集していきたいと考えております。当面する運動の課題としては、イラク占領をやめさせ国連中心の復興支援と自衛隊の撤退を求めていきます。憲法９条を守り平和が大切にされる社会のために基地強化反対、日米軍事同盟の廃棄をめざして共にがんばりましょう。草の根の運動を発展させるために楽しく有意義な行動にとりくんでいきましょう。各種団体への働きかけを強め平和の力を広げましょう。

日高市平和委員会　会長　渡辺伸一